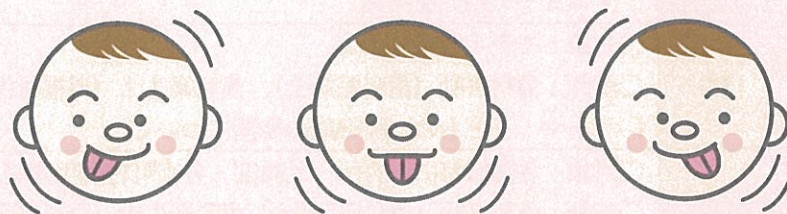


第2章

「子どもの口腔機能アンケート」 調査結果



(1) 「子どもの口腔機能アンケート」調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、鳥取県が実施している健口食育プロジェクト事業「健口キッズ支援コース」で、子どもの食べ方を支援するにあたり、子どもの食べ方等の口腔機能の実態を把握するとともに、お口を使った遊びの実施前と実施後で食べ方等の変化を調査し、お口を使った遊びの効果をはかることを目的とした。

(2) 調査の対象

県内市町村に照会し希望のあった保育所をモデル園として選定し、そのモデル園に通う主に4歳児を調査の対象とした。

調査時期	モデル園数	参加園児数	保護者
平成22年度	14園	254人	254人
平成23年度	19園	330人	326人

(3) アンケート記入数

幼児の口腔機能についてモデル園の保育士とその保護者にアンケート調査にご協力いただき回答を得た。

調査時期	モデル園数	参加園児数	保護者
平成22年度	14園	251人	241人
平成23年度	19園	330人	322人

(4) 事業の流れ・調査時期

実施内容	平成22年度	平成23年度
圏域連絡会 (東・中・西部)	2回/年 (10～11月、2～3月)	2回/年 (9～10月、2～3月)
実技指導	○歯科衛生士等が保育所へ出向きお口を使った遊びのメニューの紹介を実施	
講話	○対象：モデル園保育士等 ○講師：歯科医師（歯科医師会）、歯科衛生士（県福祉保健局） ○テーマ：子どもの口腔機能の発達について	
口腔機能研修会	○対象：各圏域毎に保育所・幼稚園・各市町村関係者等 ○講師：歯科医師（歯科医師会）、歯科衛生士（県福祉保健局） ○テーマ：子どもの口腔機能の発達について	
保護者説明会	○各保育所ごとに開催 (文書の配布のみの園あり)	
事前アンケート	10～11月	9～10月
遊びの実践	約3か月間（11月～2月頃）	
巡回指導	○歯科衛生士又は言語聴覚士がモデル園を訪問し、お口を使った遊びの確認、食べる様子（給食）の確認、相談、助言、状況報告を実施	
事後アンケート	1～2月	2月

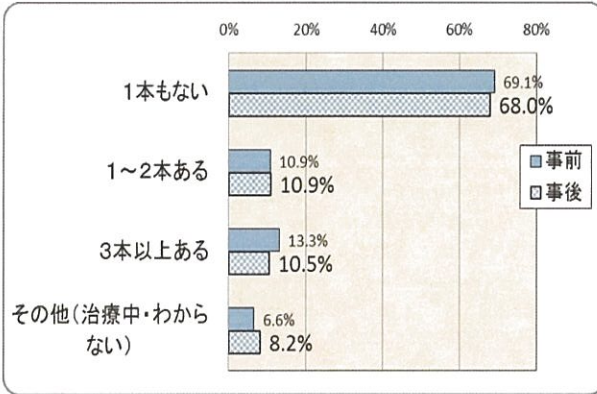


(2) 【平成22年度】
「子どもの口腔機能アンケート」結果

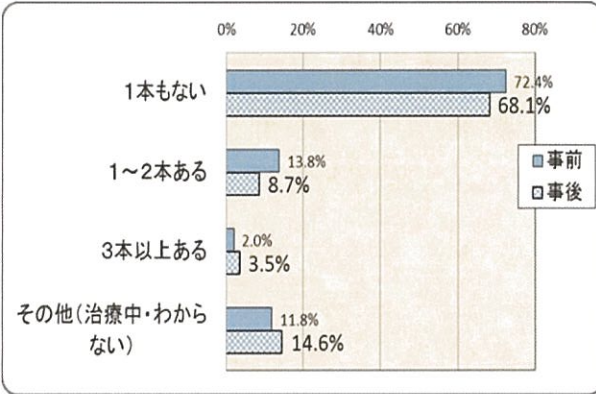
むし歯がある子どもが約30%います。放っておくと痛みやよくかめないために偏食や少食等の原因にもなります。

問1 むし歯のままになっている歯はありますか？

保育士

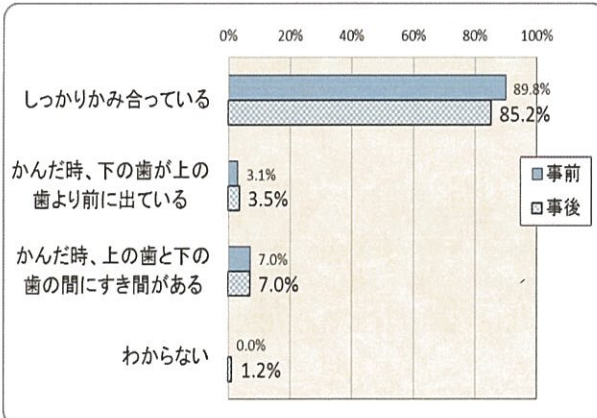


保護者



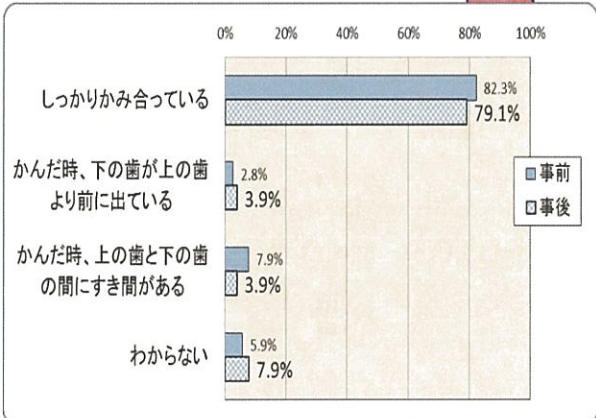
問2 前歯のかみ合わせはどうですか？

保育士



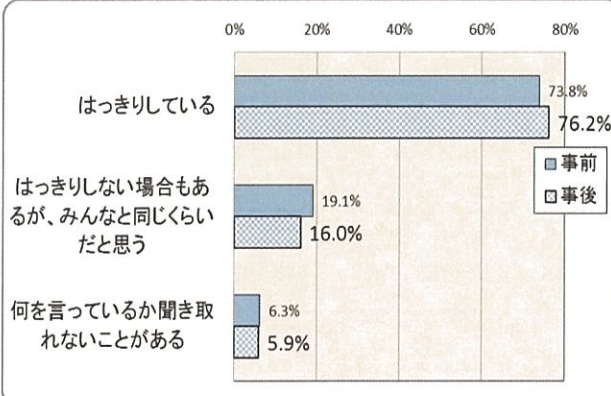
前歯がしっかりかみ合っている割合は、80%前後でした。

保護者



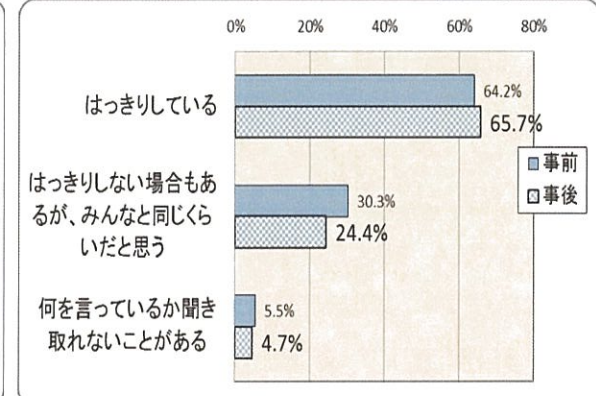
問3 ことばの発音は、はっきりしていますか？

保育士



聞き取りにくい言葉
サ行、カ行など

保護者

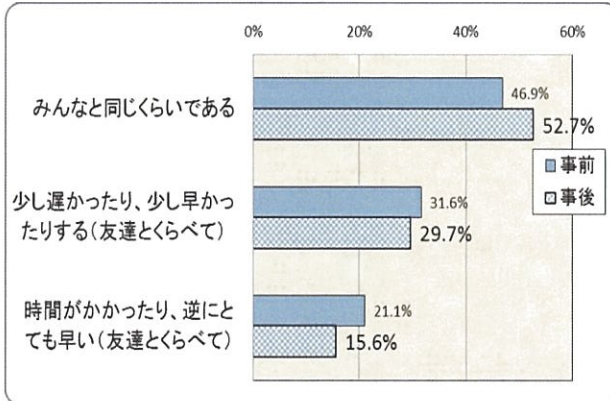


食べる時間には、個人差が
でやすいことが分かります。

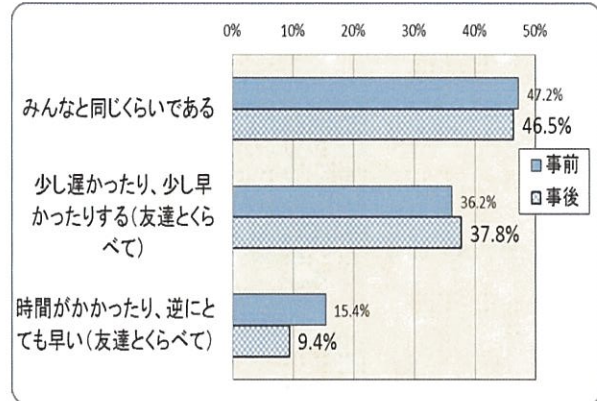


問4 食べる早さはどうですか？

保育士



保護者

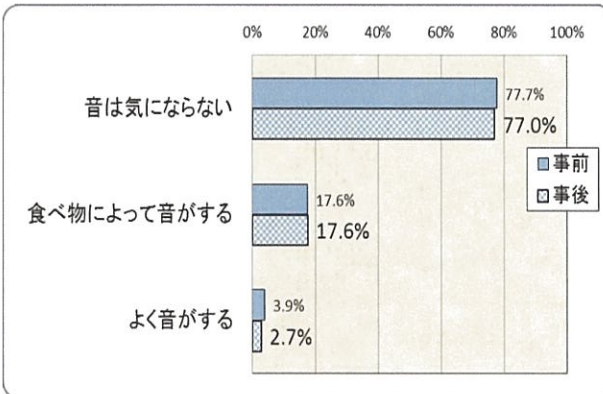


問5 食べている時、ぺちやぺちや音がしますか？

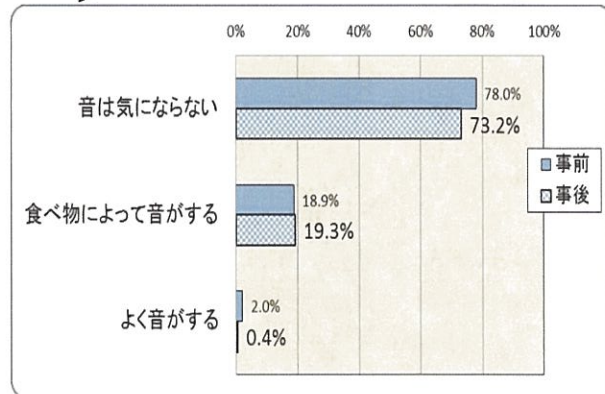
食事の時の音は、唇を閉じ、奥歯でよくかみ、舌の動きがよいと出にくいです。



保育士



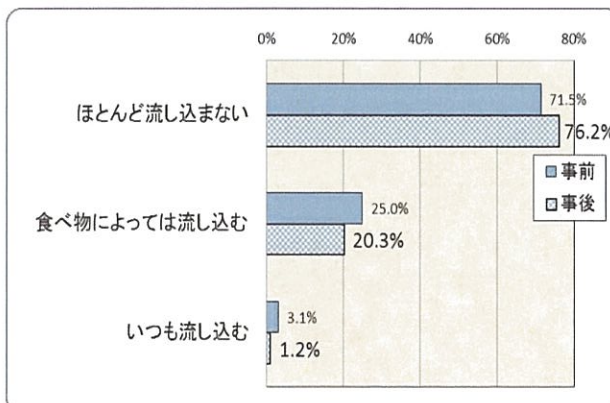
保護者



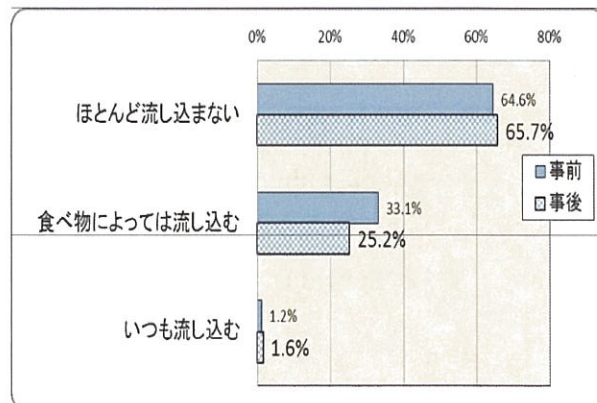
問6 食べている時、食べ物をお茶や水で流し込む習慣がありますか？

お茶や水で流し込む習慣は、事後で改善傾向にあります。

保育士



保護者

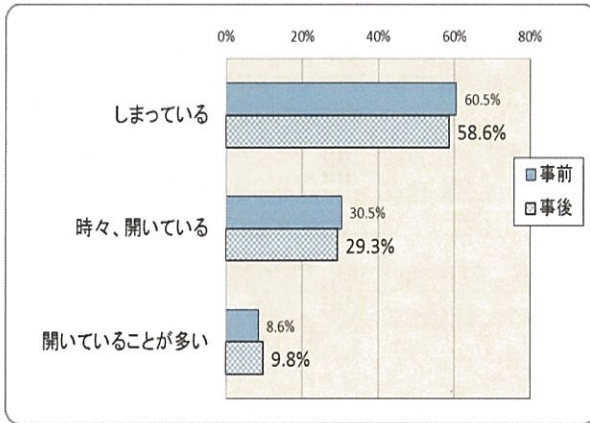


問7 無意識に、口がポカーンと開いていますか？

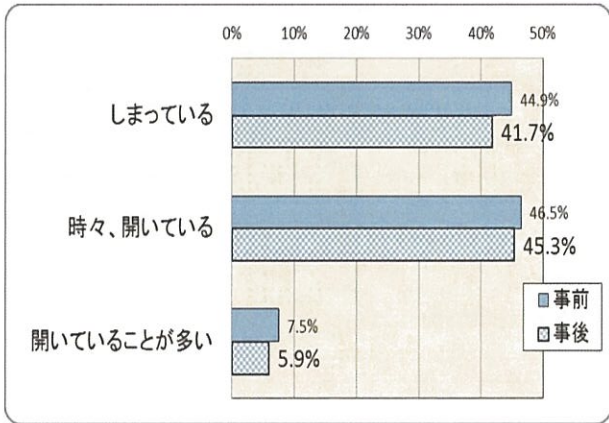
「時々、開いている」「開いていることが多い」が保育士では約40%、保護者では約50%と差がみられます。



保育士



保護者

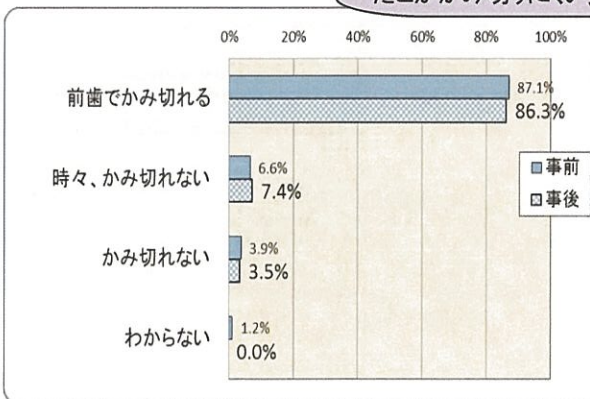


問8 ひと口サイズにかみ切る時に前歯を使いますか？

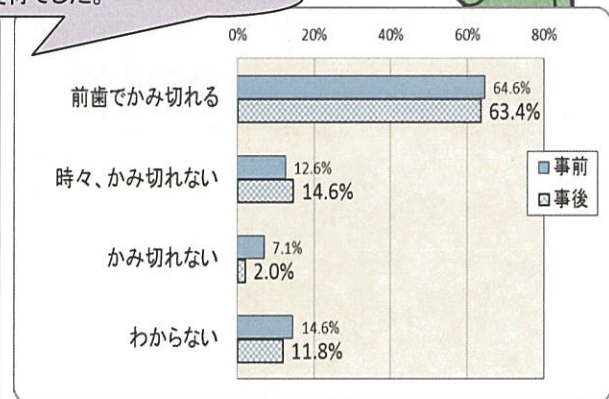
前歯で「かみ切れない」「時々、かみ切れない」は、保護者に多い回答でした。硬い肉やスルメ、いか、たこがかみ切りにくい食材でした。



保育士



保護者

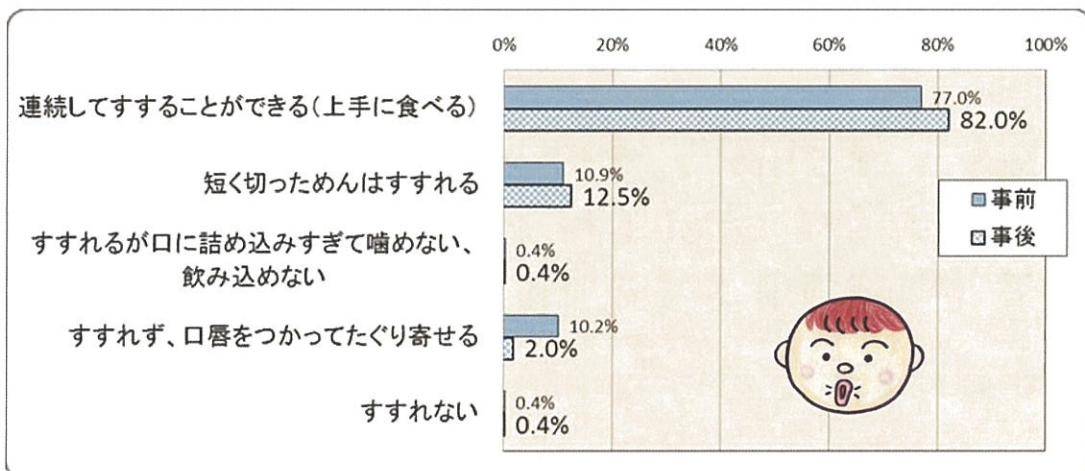


保育士のみ回答 (問9~問12)

事後では、めんを上手にする割合が増えています。

問9 めん類すすり(うどん)「麺をすすることができるか？」

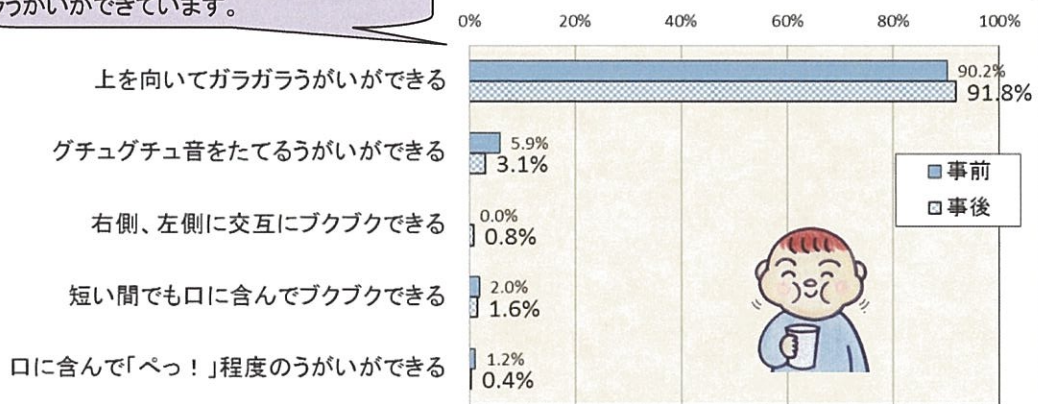
保育士による観察結果



問10 うがいのステップ 「コップに水を入れ、各種のうがいをどのようにおこなうか？」

4～5歳では、90%以上の子どもがガラガラうがいできています。

保育士による観察結果

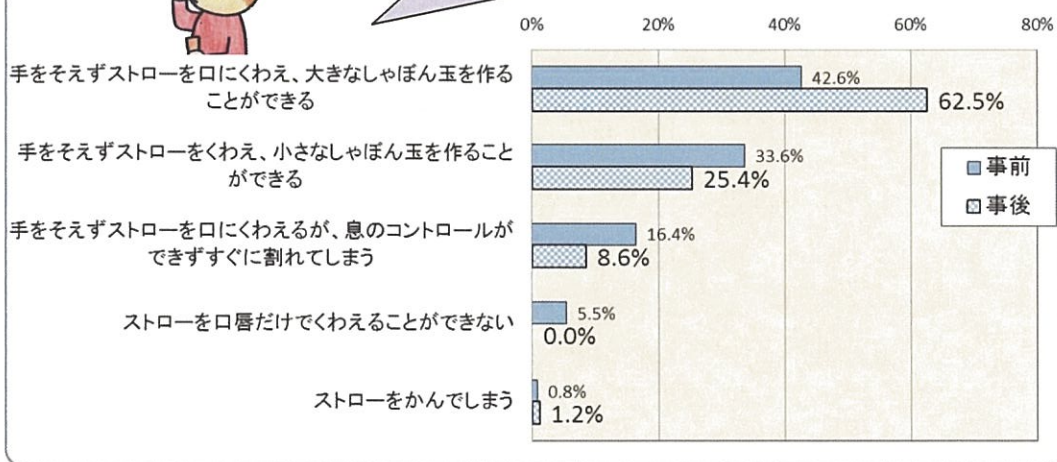


問11 しゃぼん玉遊び 「しゃぼん玉を園児がどのように作るか？」



事後には、大きなしゃぼん玉を作る子どもの割合が62.5%に増加しています。

保育士による観察結果



問12 大きめのうさぎりんご、梨をかじる 「りんご・梨(1/8 切れ)をどのように食べるか？」

4～5歳では、90%以上の子どもが適切な一口量をかじり、咀嚼できています。

保育士による観察結果

